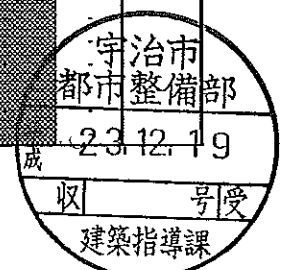


CASBEE-新築(簡易版)2010年版
微生物化学研究所

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2011
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		3.5	0.15			3.5
1.1 騒音		4.0	0.40			
1.1.1 室内騒音レベル	目標値45dB以下	4.0	1.00			
1.2 遮音		3.4	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能	D _r -40以上	3.0	0.60			
1.2.2 界壁遮音性能		4.0	0.40			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50			
2.1.1 室温		3.0	0.38			
2.1.2 外皮性能		3.0	0.25			
2.1.3 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		2.8	0.25			2.8
3.1 屋光利用		2.4	0.30			
3.1.1 屋光率		2.0	0.60			
3.1.2 方位別開口		3.0	0.40			
3.1.3 屋光利用設備		3.0	0.30			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
3.2.1 窓の遮光		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		4.3	0.25			4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50			
4.1.1 化学汚染物質	不发光不发熱の建材を全面に使用	5.0	1.00			
4.2 換気		3.3	0.30			
4.2.1 換気量	必要換気量の1.2倍以上確保	4.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		4.0	0.20			
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
4.3.2 喫煙の制御	建物内全面禁煙	5.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.4
1 機能性		3.5	0.40			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	0.33			
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33			
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30			
1.2.1 広さ感・景観	天井高さ2.7m以上	4.0	0.33			
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース、自動販売機置場の設置。全面禁煙	5.0	0.33			
1.2.3 内装計画	建物に求められている機能が明確	4.0	0.33			
1.3 維持管理		3.5	0.30			
1.3.1 維持管理に配慮した設計	外部鉄部は亜鉛メッキ処理。クリーンパターションの使用	4.0	0.50			
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外配管はガルバリウム鋼板ダクトを使用	5.0	0.08			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			



2.4 信頼性			3.6	0.19		
1	空調・換気設備	吊配管の使用	4.0	0.20		
2	給排水・衛生設備	節水型器具の使用、井水利用	4.0	0.20		
3	電気設備		3.0	0.20		
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		
5	通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブル、予備の3系統。浸水の危険性なし	4.0	0.20		
3 対応性・更新性			3.5	0.29		3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31		
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.11	4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		
3.3 設備の更新性			3.1	0.38		
1	空調配管の更新性	天井内スペースの確保。メカニカルバルコニーの設置	4.0	0.17		
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		
6	バックアップスペース		3.0	0.22		
Q3: 室外環境(敷地内)				0.30		3.4
1 生物環境の保全と創出		緑の量の確保	4.0	0.30		4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑地や日陰の確保	4.0	0.50		
LR1 エネルギー				0.40		3.3
1 建物の熱負荷抑制			2.2	0.30		2.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化			4.6	0.30		4.6
3a	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		4.6			
3b	集合住宅の評価					
4 効率的運用			3.5	0.20		3.5
4.1	モニタリング	エネルギー消費の内訳を把握	4.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル				0.30		3.9
1 水資源保護			3.4	0.15		3.4
1.1 節水		節水コマ+節水型便器	4.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63		3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉スラグ骨材・基礎コンクリート	5.0	0.21		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生材料を用いた舗装用ブロック、エコマークタイル	4.0	0.21		
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22		4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含まない材料の選定	5.0	0.32		
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68		
1	消火剤			-		
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン発泡断熱材の使用	5.0	0.50		
3	冷媒		3.0	0.50		
LR3 敷地外環境				0.30		3.3
1 地球温暖化への配慮			3.7	0.33		3.7
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		
3	交通負荷抑制	駐車・駐輪(米倉・荷捌き)スペースの確保	5.0	0.25		
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	1.00		
2	振動			-		
3	悪臭			-		
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制		3.0	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリスト、広告物照明なし	5.0	0.70		
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		

